

嶋崎大使によるEBRDと ヨルダン証券委員会とのM○U署名式への出席

7月28日、嶋崎大使は、EBRDとヨルダン証券委員会（JSC）による、ヨルダンにおける資本市場の発展を目指す協力強化のための覚書（M○U）署名式に出席しました。

EBRDは、日本・EBRD協力基金（JECF）を通じた日本政府による105万ユーロの支援を受け、2017年にヨルダン政府により承認された、ヨルダン資本市場改革に関するロードマップの実施に向けて、ヨルダン証券委員会に技術協力を行います。

覚書への署名は、テル・ウォルト（Mr. Philip TER WOORT）EBRDヨルダン事務所代表及びアジュルーニ（Dr. Leith K. AJLOUNI）ヨルダン証券委員会委員長によって行われました。

嶋崎大使は、式典において、「JSC及びEBRDの更なる協力強化のきっかけとなる本覚書への署名を歓迎する。日本による支援が、ヨルダンのCOVID-19パンデミックからのより良い回復に寄与することを願う」と述べました。

テル・ウォルト代表及びアジュルーニ委員長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



